

夫よき夫 由紀

鳩山幸さん（左から2人目）は全国プロポーズの言葉コンテスト表彰式に出席。左から飯塚崎喜香、1人おいて桂由美さん、早見優（撮影・中山知子）



（撮影・中山知子）

元タカラジエンヌ
◆鳩山幸（はとやま・みゆき）1943年（昭18）6月28日、中国・上海生まれ。宝塚音楽学校卒業後、宝塚歌劇団に6年間在籍。芸名は「若みゆき」で、娘役として活躍した。退団後に渡米し結婚。滞在中に鳩山氏と知り合い、離婚を経て再婚した。オリジナルレシピを紹介した「ようこそ鳩山レストランへ」など、多くの料理本を出版するほか、ライフコーディネーターとしても活動している。

そのうち「一緒に…」というプロポーズも披露



民主党の鳩山由紀夫代表は、会見でクールビズ不採用を宣言

表彰式のゲスト

次期衆院選で民主党が勝利し、鳩山由紀夫同党代表（62）が首相に就任すればファーストレディーになる幸（みゆき）夫人（65）が2日、鳩山氏と過ごす日々的一端を明かした。鳩山氏の話題といえは、連日国会がらみがほとんどで、「素颜」が披露される機会はまだない。永田町関係者からは「衆院選や、その後

に向けたイメージ戦略ではないか」との見方で浮上している。

押し切られ女房

幸夫人はこの日、東京・六本木ヒルズで行われた「全国プロポーズの言葉コンテスト」表彰式に、ゲストとして出席。自身のプロポーズの思い出に触れたが、夫妻の間では確たる内容を認識しておらず、「そのうち一緒に住む

自宅でも友愛「お皿洗ってくれる」

「じゃないの？」という幸夫人からの言葉がそれに当たると説明した。しかし鳩山氏は「プロポーズの言葉より、今が幸せならいいじゃないか」と語りかけたといひ、幸夫人はいまだに押しかけ女房といわれていますが、私は押し切られ女房と思っています」と、仲むつまじさをアピールした。鳩山氏がこだわる「友愛」は、私生活でも重視されているようだ。自宅では「毎日、

クールビズせず

○…「党としては認めているが、自分自身としてはクールビズを採用することはない」。民主党の鳩山代表は2日の会見で、今月1日を機に、麻生首相や閣僚が服装をクールビズに切り替えたことに対抗心をみせた。「真

夏日のような時なら許されると思うが、パフォーマンスのような形ではない。批判するつもりはないが、政治談議や国会質問の時はそれなりの姿で臨みたい」。この日はピンクを基調にしたネクタイ姿。見立てはいつも幸夫人といわれるだけに外すわけにいかない？

総理で35周年？

今年で結婚34年、「珊瑚（さんご）婚」といわれる35周年は、総理夫妻として迎える可能性もある。節目の記念日は、鳩山氏が好きな「たらこ豆腐」を使った料理でもてなしたいという幸夫人。その際は、首相公邸のキッチンで、得意な料理の腕を振るうことになるのかどうか。

鳩山夫人・幸さんが代表の素颜語る

